



§ 準備のいないワークショップ §

一文字（ひともじ）お手紙

1. ワークショップの概要

「一文字お手紙」は、参加者全員が順番に一文字ずつひらがなを繋いでいき、誰も予想できないような手紙を作り上げるワークショップです。お互いの連想を楽しみながら、手紙がどのように展開するのかを体験します。

2. 目的と効果

このワークショップでは、ひらがな一文字を繋いでいくことで、参加者が予測できない展開を楽しむことができます。思わぬサプライズが手紙に反映され、協力して作品を完成させることが目標です。

3. ワークショップの目標

- 予測できない展開：前の人を書いた一文字が自分の予想と違うことを楽しみながら、手紙を作り上げていきます。
- 協力の楽しさ：参加者同士が互いに連想し合って、意外な結果が生まれる過程を楽しみます。

4. 準備するもの

- 模造紙（1枚）
- 太字のフェルトペン
- オンラインの場合は Zoom のホワイトボードを利用

5. 手順

1. 人数設定

5～6人以上の参加者が理想です。

2. 宛先決定（〇〇〇さま）

参加者が順番に一文字ずつ書きます。

例)

「す」→「すず」→「すずめ」さま

※このように、順番に文字を繋げて宛先を作ります。

3. 本文作成

次に、参加者は順番に一文字ずつ本文を書いていきます。

例)

「そ」→「そら」→「そらは」...

文字が繋がっていく過程で、予測できない展開が楽しめます。

4. 差出人決定（〇〇〇より）

最後に、差出人の部分を順番に書きます。

例)

「つ」→「つば」→「つばめ」より

6. 完成した手紙の読み上げ

最後の人を手紙を読み上げ、全員で感想を共有します。手紙の内容や過程に対するフィードバックを行い、楽しい思い出を振り返りましょう。

7. 効果

- **意外性を楽しむ**：参加者が予測できない文字を繋いでいくことで、思わぬ展開を楽しむことができます。
- **協力の体験**：お互いにどんな文字が来るか予測しながら進めることで、協力や連携の面白さを体験できます。
- **創造性を刺激**：限られた一文字から手紙を作り上げることで、発想力が活性化します。

8. オプションの追加

- 「お題」を加えてもよい
たとえば「季節」「動物」「旅行」など。
- 完成した手紙と一緒に記念撮影をすれば思い出に残ります。

資料作成：鳥谷まゆみ（葦崎クラブ）
ITC-J 第43期 教育資料委員会 編